

# 2020年度 年度報告書

## 仏向原ふれあい公園

- 1 様式 1 年度利用料金収入実績
- 2 様式 2 年度公園施設及び有料施設利用回数・稼働率（月別）
- 3 様式 3 年度公園利用状況
- 4 様式 4 業務の第三者委託実績
- 5 様式 5 年度修繕実績
- 6 様式 6 年度増減備品一覧
- 7 様式 7 苦情対応報告、事故対応報告
- 8 様式 8 市民サービスの向上や公園の魅力向上・利用促進
- 9 様式 9 収支報告書（指定管理料のみ）
- 10 様式 10 運営目標・実績報告
- 11 様式 11 自主事業実施報告
- 12 様式 12 利用者アンケート結果
- 13 様式 13 研修実施報告

横浜市指定管理者

## (事業報告書様式1)

## 年度利用料金収入実績

日時	内容	内訳	利用料金収入合計
2月29日～3月30日	分区園利用料金	12 m <sup>2</sup> (18,000円) × 35区画	¥630,000
4月1日～4月30日	分区園利用料金	12 m <sup>2</sup> (18,000円) × 3区画	¥54,000
6月16日	分区園利用料金	12 m <sup>2</sup> (13,500円) × 1区画 ※3か月分値引き	¥13,500
11月5日	分区園利用料金	分区園利用料金 (@7,500) × 1区画 (5か月分)	¥7,500
		利用料金収入合計	¥705,000

## (事業報告書様式2)

## 年度公園施設及び有料施設利用回数・稼働率(月別)

月別	分区園利用者	稼働率
4	38	84%
5	38	84%
6	39	86%
7	39	86%
8	39	86%
9	39	86%
10	39	86%
11	40	88%
12	40	88%
1	40	88%
2	40	88%
3	40	88%

## (事業報告書様式3)

## 年度公園利用状況

月別	分区園以外の利用人数	備考
4	34	ポリジ花収穫15名、ソラマメ収穫19名
5	4	ソラマメ収穫4名
6	3	綿植え付け3名
7	15	ジャガイモ収穫15名
8	9	夏野菜収穫9名
9	4	夏野菜収穫4名
10	14	夏野菜収穫7名、ニンジン収穫7名
11	52	サツマイモ収穫24名、ダイコン収穫16名、レタス植付12名
12	4	ダイコン収穫4名
1	0	
2	17	ジャガイモ植付15名、ブロッコリー収穫2名
3	12	レタス収穫12名
計	168名	

## (事業報告書様式4)

## 業務の第三者委託実績

業務	内容	再委託会社 及び金額	年回数	実施月日	評価	対応 状況
植栽管理	草刈工 剪定工 (斜面地)	株式会社 佐藤造園 ¥2,145,000	年3回程度	6月18・22・23日 9月7～9日 3月15・16日	◎	
清掃工	建物及び園 内の清掃	地域作業所 浜風 ¥32,000	年140回程 度	4～7月 延べ30日	◎	巡回 含む
清掃工	建物及び園 内の清掃	金沢臨海サービス ¥29,700	年末年始	1月2日	◎	巡回 含む
電気設備点検	電気設備保 守点検	㈱平岡電機工事 ¥61,600	1回	2月24日	◎	
施設管理	廃棄物処分	緑のリサイクルプラ ントプラント ¥126,600	通年	通年		
コールセンター	夜間・緊急 時・年末 年始等対応	京浜警備保障㈱ ¥33,000	通年	通年	◎	

## (事業報告書様式5)

## 年度修繕実績

修繕 年月日	修繕箇所	金額	委託業者名また は直営かの記載	対応状況
1/5	ダミー防犯カメ ラ設置	52,800円	直営	青年達による不法行為が酷い為、ダ ミーの防犯カメラを設置した。設置し た箇所や青年達の集まる箇所に防犯カ メラ作動中のステッカーを設置した。
2/25	低木補植	75,200円	直営	子ども達が入り込んでしまう箇所に低 木を植え、入り込まないようにした。
3/2	区画番号札更新	12,000円	直営	傷んだ区画番号札4箇所更新した。
	修繕実績 計	140,000円		

## (事業報告書様式6)

## 年度増減備品一覧

今年度増減なし

(事業報告書様式7)

苦情対応報告

	年月日	内容及び苦情者	対応結果
1	5月11日	家の敷地を通過して公園に入っていく子がいて、花を踏まれてしまうので、入らないようにしてほしい。 路上駐車についても、農具を持って公園側に歩いていく人を見た。公園が出来るときの説明会で市は、路上駐車対策をすと言っていたが、どうなっているのか。	ご自宅の敷地を通行してしまうとのことで申し訳ございません。 元々立ち入り禁止のエリアなので、立ち入り禁止の看板を設置致します。 また、路上駐車に伴う迷惑お掛けし申し訳ございません。 現在の対応としては、週2日の巡視日に公園敷地前の道路までの巡視を行っています。その際路上駐車を見つけたら、利用者に確認と指導をしています。 仏向地域ケアプラザ、橘中学校が並んでいる道路への路上駐車のように、公園から1本外れている道への路上駐車だった為、その後の巡視範囲を広くしました。 立ち入り禁止の掲示についても翌巡視日に設置しました。
2	5月18日	家の敷地側から入ることは無くなりましたが、今度は反対側から入っています。斜面で危ないので、反対からも入らないようにしてほしい。	度々ご迷惑をお掛けし申し訳ございません。 公園側の隙間にも立ち入り禁止の掲示物を設置し、対応します。 →翌巡視日に掲示しました。
3	6月5日	公園建物屋根に上り、夜間騒ぐ人がいる。 モスキートをつけるとか何か対策をしてほしい。	ご迷惑をお掛けし申し訳ございません。 警察に連絡し、パトロールの強化を依頼しました。 警察の方から、騒ぐ人がいたら警察に連絡をほしいと言われたので、今後も警察への通報をお願い致します。 その他、パトロール強化中のステッカー、夜間騒がないような旨のお知らせ掲示、屋根に上らないよう、一番低くなっている箇所下のプランター移動、自動販売機への防盜警報装置の設置を行いました。
4	8月1日	警察より公園内にタバコの吸い殻やゴミが散乱しており、建物に押し付けた跡を確認しました。 被害届を出すのか確認したい。	現地で現場確認を行いました。 何か所かタバコの跡を発見しましたが、防犯カメラがなく捜査が難しいとのことで、被害届ではなくパトロール強化の依頼をしました。 自動販売機のゴミ箱に足跡があった為、鑑識も来てもらい、採取してもらいました。 その後、パトロール強化を依頼し、巡回カードを掲示板へ貼り出すようにしました。
5	11月24日	公園外周フェンスのクズを落葉が飛んでくるので、どうかしてほしい。	当日、フェンスに絡んだクズを撤去しました。 作業完了後、横浜市へ報告書提出しました。

6	3月31日	<p>小学生と思われる子どもたちが、遊具公園と自宅の間にある手摺を乗り越えたり、手摺の途切れている場所から斜面に入り込み、さらに斜面を登り自宅へ侵入する。</p> <p>道路から約2メートルほどの斜面を登り、手摺（高さ約70cm）を乗り越えて公園斜面に入り込む。その際、道路と斜面の間にある花壇を踏みにじるため、花壇の管理ができない。</p> <p>きちんと公園管理して欲しい。</p>	<p>立ち入り禁止看板がボロボロになっているが、交換されないことについてお話があり、看板については、再設置する旨を伝えました。</p> <p>その他フェンスを高くするなど対応を検討します。</p> <p>花壇が踏み荒らされている件については、花壇の状況確認をさせていただきますと伝え、4月3日に直接お会いするアポイントを取りました。</p> <p>4月にネットの設置や立ち入り禁止看板の設置を実施予定です。</p>
---	-------	---	---

## 事故対応報告

事故発生はありません

（事業報告書様式8）

### 市民サービスの向上や公園の魅力向上・利用促進

#### ・利用者ニーズの把握取組の考え方

利用者サービス向上の為、満足度把握とともに、利用者の多種多様な要望やニーズを把握しました。巡視日に利用者と直接コミュニケーションを取ることを最も重視しており、丁寧な対応を心がけ、利用者がより楽しく快適に過ごせる公園づくりに取り組みました。ニーズを把握した際には、積極的かつ迅速な対応で公園の利便性向上や魅力アップに努めました。

#### ・満足度向上の取組みの考え方

当公園の魅力は、菜園活動や収穫体験ができる場があることです。分区園利用者に向けた栽培相談等の様々なサービス、分区園利用者以外の方々に向けた協働農園を活用した体験等、魅力を最大限発揮した事業に力を入れて取り組むことで、利用者満足度の向上を図りました。

#### ・広報の考え方

農園付公園は、「分区園全区画を利用・運営する」ことが管理運営の中で大切です。来園者に分区園、公園の魅力を知って頂き、「分区園を借りてみたい」と思ってもらえるような広報活動を行いました。SNSでは、見に行ってみたいなと思ってもらえるように、明るい雰囲気の写真を更新するように心掛けました。興味を持ってもらうことで、来園のきっかけをつくり、集客に繋げました。当公園は、職員常駐の公園ではないことから、公園の掲示板やHP等は来園者とのコミュニケーションツールとして、丁寧に作成し、最新の情報を提供するように心掛け、またイベントの広報をする際には、当公園の規模で対応できる集客数を考慮し、広報手段を選択しました。事前に参加者を募るイベントでは、定員数、申込方法の記載について誰でも分かりやすい表記にしました。また、ユニバーサルデザインの観点から、子どもから高齢者まで幅広い年代の方が分かりやすいよう文字の大きさやふりがな、イラストを使用した掲示物を作るようにしました。

#### ・公園運営改善策について

当公園は、今年度が2年目と新しい公園です。新しい公園では、知名度を向上させ、公園利用者を増やすことが大切となってきます。

知名度を向上させる為、昨年度よりインスタグラムや、HPでの公園情報の発信を行ってきました。さらに、近隣施設の仏向地域ケアプラザの方との繋がりができ、サツマイモの収穫体験など共催イベントの開催や、公園の情報発信にも協力していただける関係になりました。

今後も地域の方と積極的に関わり、より知名度向上に努めていきます。

## (事業報告書様式9)

## 収支報告書 (指定管理料のみ)

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	7,806,166		7,806,166	7,806,166	0	
利用料金収入	930,000		930,000	705,000	225,000	100%稼働ではない為
自主事業収入	95,000		95,000	27,200	67,800	
雑入	0		0	0	0	
その他雑入	0		0	0	0	
収入合計	8,831,166		8,831,166	8,538,366		

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	3,621,500		3,621,500	3,621,500	0	
給与・賃金	3,040,600		3,040,600	3,040,600	0	
社会保険料	496,000		496,000	496,000	0	
通勤手当	24,500		24,500	24,500	0	
健康診断費	17,400		17,400	17,400	0	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	43,000		43,000	43,000	0	
事務費	1,803,694		1,803,694	1,469,430	334,264	
旅費	110,000		110,000	110,000	0	
消耗品費	878,694		878,694	880,000	0	
会議賄い費	9,000		9,000	9,000	0	
印刷製本費	30,000		30,000	30,000	0	
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
(横浜市への支払い分)	0		0	0	0	
(その他)	0		0	0	0	
備品購入費	400,000		400,000	10,000	390,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設責任賠償保険	36,000		36,000	30,430	5,570	
職員等研修費	50,000		50,000	150,000	-100,000	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	240,000		240,000	240,000	0	
手数料	20,000		20,000	10,000	10,000	
地域協力費	30,000		30,000	0	30,000	
自主事業費	95,000		95,000	25,000	70,000	
管理費総合計	5,520,194		5,520,194	5,115,930	404,264	
光熱水費合計	260,000		260,000	207,480	52,520	
光熱水費(電気)	113,000		113,000	84,154	28,846	
光熱水費(ガス)	0		0	0	0	
光熱水費(水道)	147,000		147,000	123,326	23,674	
光熱水費(下水道)	0		0	0	0	
清掃費	460,000		460,000	69,000	391,000	
修繕費	150,000		150,000	140,000	10,000	
機械警備費	0		0	0	0	
施設保全費	2,060,000		2,060,000	2,427,900	-367,900	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	110,000		110,000	61,600	48,400	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
その他保全費・園地管理費	1,950,000		1,950,000	2,366,300	-416,300	草刈 214 万 5,000 円、コー ルセンター3 万 3,000 円、ゴミ 処分 12 万 6,600 円、巡回清掃 6 万 1,700 円
共益費(合築等の場合)	0		0	0	0	
公租公課	0		0	0	0	
公租公課(事業所税)	0		0	0	0	
公租公課(消費税)	0		0	0	0	
公租公課(印紙税)	0		0	0	0	
その他公租公課	0		0	0	0	
事務経費	380,972		380,972	501,000	-120,028	
事務経費(本部分)	375,972		375,972	496,000	-120,028	本部社員人件費

事務経費（当該施設分）	5,000		5,000	5,000	0	利用者連絡員通信費
その他経費（当該公園分）	0		0	0	0	
支出合計	8,831,166		8,831,166	8,461,310	369,856	
差引	0			77,056	-77,056	

（参考）指定管理料外の経費

設置管理許可収入合計	30,000			178,905		自動販売機
設置管理許可支出合計	1,960			0		
差引	28,040			178,905		

（事業報告書様式 10）

運営目標・実績報告

目標設定の視点	当初設定した運営目標	当初設定した管理指数・数値	実績	目標との差異	今後の取組（改善計画）
業務運営 1 （達成目標、運営業務の実施方針）	① 分区園全区画利用 ② 公園の知名度向上	① 利用率 100% ② ふれあいイベント参加者 20 名以上	① 利用率 88% ② 168 名参加	① -12% ② +148 名	100%稼働させるよう、掲示・ポスティング・HP など広報活動に努めます。また、公園知名度を上げるために、更に町内会や地域活動団体との交流を深めます。
業務運営 2 （利用者サービスの向上、利用者満足度や利用者数の増、利用しやすさ向上）	① 分区園利用者以外の方の協働農園への来園 ② アンケートの満足度	① 月 5 名 ② 90% 方が「満足」	① 月平均 14 名 ② 75% が満足	① 月平均人数 +9 名 ② -15%	分区園利用者以外の方の協働農園への来園者を更に増やすために、気軽に参加できる収穫体験の数を増やします。また、利用者満足度を上げるために、サービスの向上と分区園利用者との交流を深めます。
業務運営 3 （人員配置、緊急時対応計画、防犯防災、災害対応）	緊急時に対応できる柔軟な配置	施設長 1 名 副施設長 1 名 運営スタッフ（正規） 3 名 運営スタッフ（非正規） 2 名以上 本部指定管理課職員 3 名 防災訓練の実施	計画通りの配置をしました。	差異なし	引き続き複数の職員が運営に関わっていくことで、誰にとっても安心安全な公園運営に努めます。

人材育成 研修実施 効果等	「利用者満足 度向上」や 「継続的利 用」につな がる体系的な研 修と自己啓発 環境の整備	接遇・障がい者対応 研修（4月） 個人情報保護研修 （4月） 施設長研修（6月） 広報研修（8月） 植栽維持管理研修 （年3回） 農業研修（9月）	様式13の通 りです。	+10回	引き続き、農園付き公 園の職員として必要な 能力（お客様目線で考 え、行動できる）を身 に着けられる研修を行 います。
維持管理 1 （施設の 保守管 理、補修 計画）	誰もが安全安 心、清潔快適 に利用してい ただけるよ う、質の高い 維持管理を行 う。	横浜市策定「維持管 理の手引き」「施設 管理者点検マニユ アル」や水準書に基 づき、「施設年間管理 表」「植物年間作業 計画表」を作成し、 安全の確保・美観の 維持・施設の長寿命 化・環境保全に配慮 した維持管理に取組 む。	水準書に則 り作業を実 施するだけ でなく、園 内の状況に 合わせて、 作業頻度や 実施時期を 変更するな ど柔軟に対 応しました。	差異なし	維持管理水準書に則 った法定点検を随時実 施し、誰もが安心安全 に寛ぐことができる空 間をつくります。
維持管理 2（清 掃、園地 維持管 理、災害 対応）	建築保全業務 共通仕様書に 基づき、点 検・保守を行 い、施設の長 寿命化に努め る。	維持管理水準以上の 頻度で、きめ細かな 点検および清掃を実 施する。 ・春先の重点草刈り ・台風前の水路清掃 ・冬季の枯死木点検 の実施	園内の状況 を見て、草 の伸びが早 い箇所は他 エリアより 回数を増や すなど、水 準書以上の 管理となる ように心掛 けました。	差異なし	日常清掃に力を入れる ことで、建物や設備の 維持管理を徹底し、い つも清潔な状態を保ち ます。また、植栽管理 にも力を入れます。
収支 修繕等、 収入、支 出）	各施設に関し ては、耐用年 数表と現場の 状況に応じて 修繕計画表の 作成を行い、 利用者の安全 と利便性確保 を第一に修繕 の要不要を判 断し、計画的 に修繕を行 う。	施設長寿命化の為、 計画的に点検および 修繕を行う。	施設長寿命 化の為、丁 寧な清掃を 心掛けまし た。 ダミーカメ ラ設置によ り、不法行 為の抑止を 行い、施設 破損の防止 にも努めま した。	収支に関 しては事 業報告書 様式9の 通り。 修繕に関 しては事 業報告書 様式5の 通り。	修繕に関わる物品等 について、購入前の価格 調査を行うことはもち ろん、強度や耐久年数 などを検討した上で、 適正な収支予算を立て 運営します。また、施 設等の劣化状況を確認 ・監視することで必 要な部材の修繕（クラ ック補修・塗装等）・取 り替えを行います。



経費節減策	指定管理料縮減に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の繁閑に応じて効率的に人員を配置。地元雇用を行う。</li> <li>・直営作業を基本とし、委託費縮減に努める。</li> <li>・自社製品を活用してコスト縮減に努める。</li> </ul>	夏場は人員を増やすことで、直営での草刈等の園内維持管理作業実施を中心としました。協働農園の野菜は、自社製品を中心に、園内で必要な資材は取引先から安価で購入できる資材を活用しました。	達成しました。	今後も直営作業をすることで委託費縮減に努めます。また、取引先から安価に購入できる資材を活用します。道具類は常に安定的に使えるよう丁寧な扱いをし、使用した後はこまめに手入れすることで、長寿命化に努めます。
-------	--------------	---	--	---------	---

(事業報告書様式 11)

自主事業実施報告

事業名	目的・内容	実施時期・回数・収支状況・実施結果考察
栽培相談日	栽培相談員による現地での相談会を実施した。分区園利用者が植付けから収穫まで成功できるようアドバイスした。現地で、一人一人の栽培に関するお悩みや野菜づくりのコツについて、言葉と実演を交えながら丁寧に説明した。	7月11日、8月8日、9月12日、10月10日、11月14日、12月12日 (4月11日、5月9日、6月13日は畑のチェックのみ) 家庭菜園初心者の多い当公園では、栽培相談が大変喜ばれた。
栽培相談ノート	栽培相談日に来られなかった利用者のサポートを目的に実施した。倉庫内へ設置し、利用者が畑での悩みを記入、次回巡視日にスタッフが回答を記入した。ノートを設置することで、よりきめ細やかな対応ができ、利用者の菜園生活を手厚くサポートできた。	4月～3月常設 些細なことも記載でき、栽培以外についての園内での相談事が書かれることもあり、利用者との交換ノートとしての役割も持っている。
土の酸度測定	希望者に、野菜作りの基本である土の酸性度の測定を行うサービス。より高品質な野菜作りを提供することを目的に実施した。数値の結果は、肥料等の投入量の目安や土に合った野菜選びのヒントになる。	4月～3月随時(希望者) 8月11日(全区画) 全区画の酸度測定結果は、掲示板に貼り出し、秋の植付時に役立ててもらおうようにした。現状の酸度測定結果を掲示したことで、土壌改良後の酸度測定の依頼や、今後の相談を受けることが増え、活用してもらっていると実感した。

菜園生活ガイドブック	初めて野菜作りをする利用者が、野菜作りの基礎について、いつでも確かめられることを目的に実施した。季節の野菜の種類、植付け方法、マルチングの張り方等、写真を使って分かりやすくまとめたものを倉庫内に設置した。巡視日を待たなくても基本的なことはいつでも確かめられるようにした。	4月～3月常設  当公園は、菜園活動初心者の利用が多いため、農作業の基本的なことをまとめたものや、野菜づくりの本はスタッフがいない日の確認などに役立ててもらっている。
資材の無料提供	利用者に、より快適に菜園生活を送ってもらうことを目的に実施した。これまでの経験から「少しだけ欲しい」という分区園利用者の声を踏まえ、黒マルチシートと木酢液を設置した。	4月～3月常設 何度か資材の補充を行い、積極的に活用していただけていると実感している。
資材の無料レンタル	利用者により快適に菜園生活を送ってもらうことを目的に実施した。特に車での来園を禁止している為、スコップや鍬、支柱などの徒歩や二輪車で持ってくる長物を中心に貸出した。	4月～3月常設 剣スコップ5、備中鍬1、移植ゴテ5、台車1を常設している。 新規利用検討者から貸出し道具の有無の質問をもらうことが多く、貸出し道具がある旨を伝えると、利用に繋がるが多かった。貸出し用道具があることも利用決定の決め手の1つであると感じた。
区画看板づくり	楽しい菜園生活を送ってもらうため、自分たちの畑だと愛着を持ってもらうことを目的に実施した。	4月～3月常時（希望者） 看板があることで、利用者のやる気向上と、盗難等の不法行為防止にも繋がっている。
温度計・湿度計の設置	熱中症等を防止する自己啓発を目的に実施した。熱中症指数がわかるものを倉庫内に設置し、利用者自身で気を付けることができる。職員の巡視日に猛暑であれば、休憩を呼び掛ける目安にもなる為、熱中症対策として設置。	4月～3月倉庫棟内に常設 夏季は早朝か夕方利用が多く、利用者の方々も自然に対策をとっている。
協同農園のふれあいイベント	農の普及として、分区園利用者でなくても身近に農と触れ合ってもらうことを目的に実施した。 今回は、サツマイモ掘り、ニンジンの収穫体験を主に開催した。	10月31日、11月3日 (通常の収穫体験については、収穫祭の実施に記載) 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、大勢の方を集めたイベントは中止としたが、少人数でのイベントや、入れ替え制での開催をするなど感染防止策を取りながらのイベント開催により、参加者の皆様に喜んでもらうことができた。
公園野菜のおいしいレシピの提案	食を通して農へ興味を持ってもらうことを目的に実施した。旬の野菜を簡単に調理できるレシピ本の設置を行い、食べるころまで楽しめるサポートをした。	4月～3月倉庫棟内に野菜の保存法やレシピ本を常設。

維持管理発生材の利用	維持管理作業で発生した刈草等は捨てずに、堆肥化するなど再利用できるように努めた。 園内及び管理作業で活用することでゴミ削減に繋がった。	4月～3月随時  堆肥づくりの材料として活用している。
プロの堆肥づくり	園内の大規模な堆肥置き場を活用して、正しい堆肥づくりを行った。ゴミの削減、堆肥代の軽減に繋がり、園内の分区園、協働農園、花壇づくりに利用して、循環型農業を目指した。	4月～3月随時 堆肥は、現在果樹園に使用していて、処分費節減にもなっている。 また、利用者にも積極的に活用していただいております、利用者の菜園活動のサポートにも繋がっている。
農の風景	昔懐かしい里山風景をつくり、温かみと安らぎのある居心地の良い公園にすることを目的に実施した。倉庫棟付近のプランターや農園脇のキウイ棚に朝顔を植えるなど、のどかで懐かしい農家の軒先を彷彿させる風景づくりをした。	4月～3月随時  建物周りには朝顔、協働農園では、大麦やゴマなど、日本らしい植物を育てのどかな雰囲気づくりを行った。 仏向らしい
巣箱の設置	花木ゾーンに巣箱を設置し、バードウォッチングや鳥のさえずりを楽しむ目的で昨年度より設置している。生き物と触れ合う機会を増やすことで、環境教育・生態系の保全に繋がるようにしている。	3基設置済み  週2日の巡視では、鳥が入っているところを見ることは残念ながらできなかった。
花いっぱい活動	来園者に綺麗な園内で過ごしてもらうこと、四季を感じてもらうことを目的に実施した。ユリやアイスチューリップなど当団体ならではの植栽を行い、来園者に楽しんでもらった。一年を通して常に季節の花を楽しめる空間づくりを行い、来園者のおもてなしをした。時には利用者と一緒に花苗を植え、交流の機会をつくった。	5月19日、6月9・27・30日 12月8・19日、1月9日  元々花壇が少ない公園の為、建物脇のプランターや協働農園の脇に植えたり、スロープ沿いに植えるなど植栽の数を増やしつつ、地域の子も達が花と触れ合う時間も作った。
緑の補植	風景の保全・育成を目的に山野草や宿根草等の補植を実施した。補植を行うことで、来園者に四季を感じてもらうことができ、地被類が増えることで斜面の土の流出防止にも繋がっている。	4月～3月 公園に自生していたツリガネニンジン、ホタルブクロを育て、花壇など来園者の目に触れるところへ植栽した。
掲示物	利用者とのコミュニケーションツールとして、掲示板の他にも園内の様々な箇所に掲示を行った。子どもから高齢者の方まで、見て・知って、楽しくなるような情報や新鮮な情報であることを心がけた。またQRコードを活用し、HPとの連携も行った。	4月～3月随時  イベント情報だけでなく、公園で見つけた虫（毛虫やアブ）など毒虫の注意喚起も行った。特に虫に対しての注意喚起は、子ども達にも気を付けてもらいたいため、振り仮名やイラストを用いた。

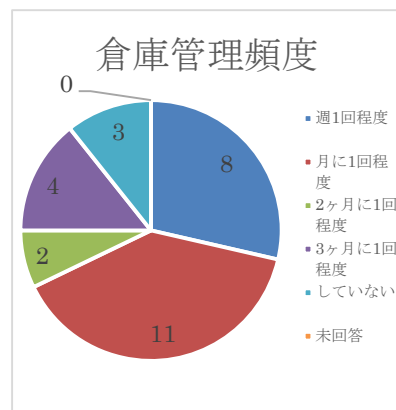
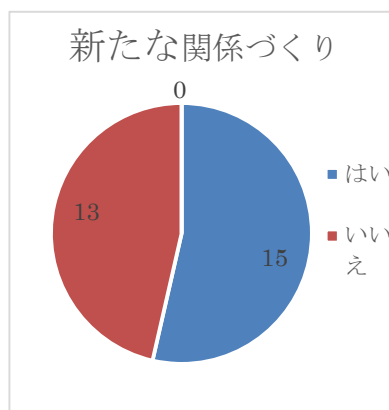
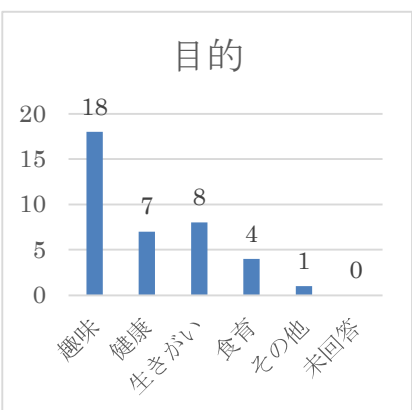
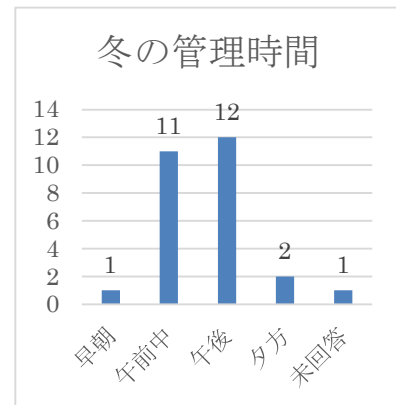
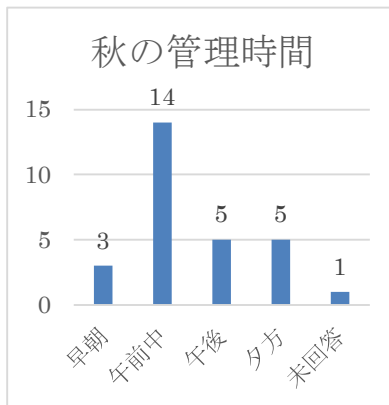
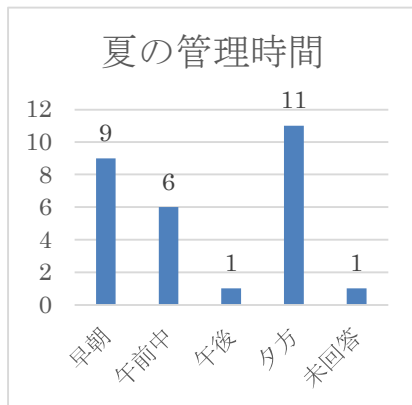
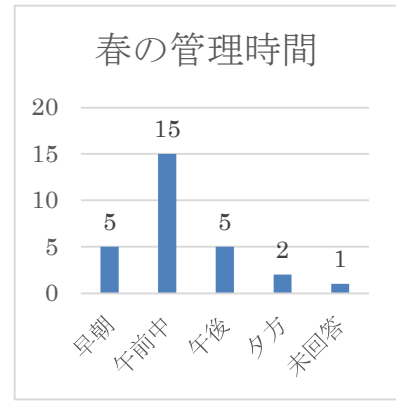
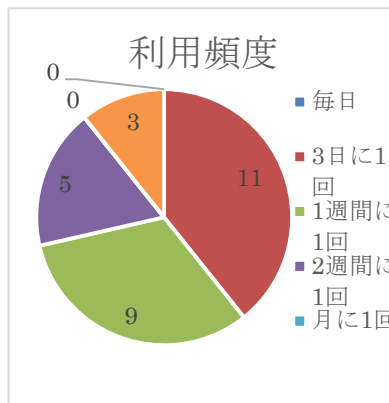
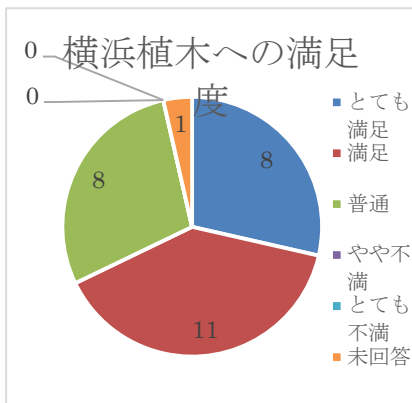
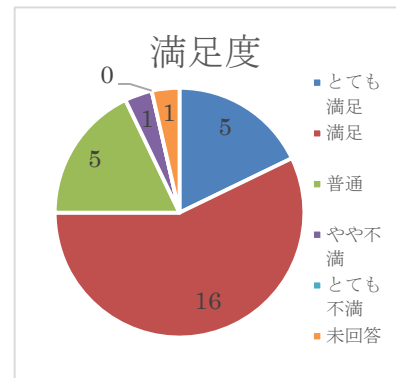
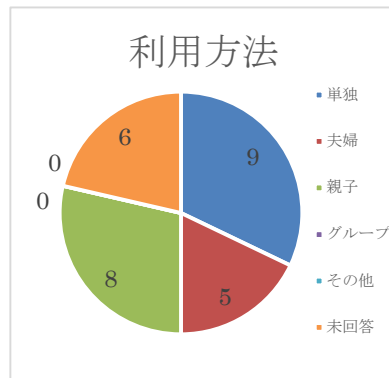
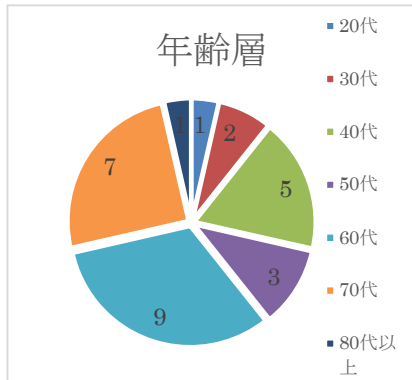
HP・SNS	現在、老若男女を問わず、一人一台持っているスマートフォンを活かす方法として、HP・SNSの運用を積極的に行った。	HP・Twitter・Instagram・Facebookに公園農作物や草花写真付き情報を更新するとともに、現地掲示板には、HPやSNSにアクセスできるQRコードの常時掲示を行い、気軽にアクセスできる形にした。
地域サポーター協力の呼びかけ	分区園利用者ではない方も含め、協働農園の管理や花壇の整備などを、気軽に幅広く有志でお手伝いしてくれる方を「地域サポーター」として位置付け、一緒に管理運営を行った。	11月17日 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、無作為に人を集めるのではなく、地域の子育てサークルの方と一緒に野菜や花の植付を行った。
収穫祭の開催	地域の方々を対象とした収穫祭を実施し、世代間交流の場とした。自分の手で収穫した野菜を持ち帰ってもらい、自宅で収穫した野菜を食べ、食育に繋がれるようにした。	収穫体験 4月29日、5月2日、6月23日、7月11・18・21・28日、8月8日、9月29日、10月6日、11月17日、12月8日 (サツマイモ掘り、ニンジンの収穫体験については、協同農園のふれあいイベントに記載) 無料配布4月～3月随時  新型コロナウイルス感染拡大防止の為、大勢の方を集めたイベントは中止とした。
和綿から糸を紡ごう	植物から糸が出来るまでの一連の流れを体験するワークショップの開催に向けて、栽培から収穫までを実施した。糸紡ぎまで当初やる予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、収穫までとした。	6月9日(植付)、10月3日(収穫)  当初の想定年齢層は、4、50代位の参加を想定していたが、実際イベントを行うと、植付も収穫も小さなお子さんが主だった。
1袋ごとの資材販売	堆肥等の重たい資材を職員が現地までお届けするサービス。利用者が車で来園できないことによる資材運搬の負担を減らすことができ、快適な菜園生活をサポートすることを目的に実施した。現地販売資材は、堆肥や石灰、配合肥料の他、当団体オリジナルの発芽率の良い高品質な種等、幅広いニーズに対応するよう心掛けた。	4月から随時  区画倉庫にお届けする形をとり、当初の想定より利用が多かった。徒歩・二輪のみ来園可能なため、今後も利用者の利便性向上の為、実施し、販売資材もニーズに合わせて柔軟に対応していく。
耕運サービス	3月の年1回の無料耕運のほか、夏野菜から秋冬野菜の切り替え時など希望者の畑の耕運を行った。(個人1,000円/1回・団体2,000円/回)	4月から随時  当初の想定より利用が多かった。比較的初心者の方が多い当公園では今後も重要なサービスの一つであり、引き続き実施していく。

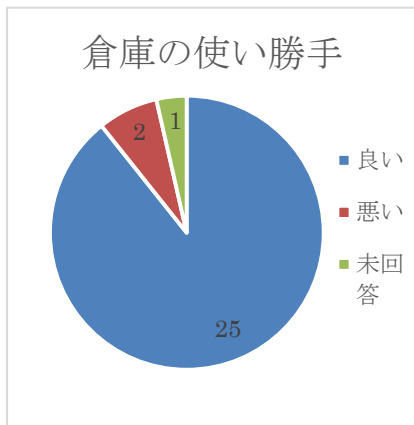
<p>レタスの育て親になってみよう</p>	<p>植付～収穫、食べるところまでを一連の流れで体験してもらい、子ども達の食育に役立ててもらおうことを目的に実施した。</p>	<p>11月24日（植付）、3月2日～          植え付けた子達が公園に来た際、野菜の生長を観察したり、公園に来る楽しみの一つにもなり、公園のリピーター獲得へも繋がった。</p>
-----------------------	---	---

(事業報告書様式 12)

### ■分区分園利用者アンケート集計結果

・実施期間及び対象人数： 令和2年2・3月、28名





倉庫について : 利用器具が少ない。  
もう少しスペースが欲しい。

### ご意見、ご要望

ご意見 : 可能であれば、水道蛇口にホースを使用できるとさらに使いやすいと思います。

ご要望 : (途中参加の人も) 同区画の2年間くらいの継続利用があると良い。  
使用料をもう少し安くしていただけると嬉しいです。

(事業報告書様式 13)

### 研修実施報告

	実施日	研修名	内容及び効果
1	9月16日	農業研修	職員の栽培技術の向上を目的に、無農薬栽培について学びました。
2	10月27日	公園管理職研修	事業計画や運営、体制などについての研修を実施しました。
3	11月10日	公園施設点検研修(樹木点検)	横浜市主催の樹木点検に出席し、樹木の点検方法を学びました。
4	11月26日	盲導犬ユーザー受け入れ・接客セミナー	盲導犬についての知識を習得、視覚障害者が施設を利用するときの対応方法を学びました。
5	11月27日	植栽管理技術研修	他指定管理公園にて、梅の剪定について学び、果実をつけるためのポイント等合わせて学びました。
6	12月1日	施設点検研修	施設の安全レベル向上を目的に、施設点検時のポイントについて学びました。
7	12月8日	安全運転研修	車の運転について、注意するポイントなどをドライブレコーダーの映像を用いて行いました。
8	2月18日	クレーム対応研修	クレームが発生したときの対応方法を学びました。
9	3月17日	個人情報保護研修	公園業務において重要なスキル・考え方を身に着けるための研修を実施しました。
10	4月~12月 月1回開催 (全9回)	植栽管理技術研修(野菜づくり)	栽培相談員を講師に園地管理技術の向上を目的に野菜の育て方や土作りなどについての研修を各公園内にて行いました。